

大田区重層的支援会議の概要と令和5年度の実施状況

令和5年 12 月
福祉部福祉管理課

1 重層的支援会議の概要

令和5年度から本格実施している「重層的支援体制整備事業」の機能のひとつとして、各支援機関の包括的相談支援をサポートする重層的支援会議を実施しています。

(1) 重層的支援会議の機能

① チームづくり調整機能

課題に応じて必要な機関と支援方針や役割分担を検討し、支援プランを作成します。
また、支援プランのモニタリングを実施し、必要に応じて再プランの検討を行います。

② アウトリーチ支援等調整機能(社会福祉法第 106 条の6に基づく支援会議)

法に基づき支援チームに守秘義務を課したうえで、必要な情報を関係者と共有し、対象者本人との関係性づくりをするためのアウトリーチ支援等の方法を検討します。

(2) 所管課

各地域福祉課の地域包括ケア推進担当

2 重層的支援会議の実施状況(令和 5 年 11 月末現在)

(1) 多機関協働事業の状況(4地区の合計値)

多機関調整の相談件数	96 件
重層的支援会議(支援会議含む)の実施回数	46 回
うち精神疾患がある方を含む世帯の事例	43 回

(2) 重層的支援会議に参加した支援機関の例

地域福祉課、生活福祉課、障がい者総合サポートセンター、わかばの家、地域健康課
地域包括支援センター、生活再建・就労サポートセンターJOBOTA
ひきこもり支援室SAPOTA、若者サポートセンターフラットおおた、
国際都市・多文化共生推進課、環境対策課、
社会福祉協議会、特定相談支援事業所、居宅介護支援事業所
訪問看護ステーション、主治医となる医療機関 等

※スーパーバイザーとしての参加

十文字女子学園 今井伸教授、東京都立中部総合精神保健福祉センター